

会 議 の 状 況

I 平成29年度第4回青森県原子力施設環境放射線等監視評価会議監視委員会

1. 日 時 平成30年2月27日(火) 14:00~16:00

2. 場 所 国際ホテル 3階 萬葉の間

3. 出席委員 30名

4. 提出資料

資 料 1 会議の状況

冊 子 原子力施設環境放射線調査報告書(平成29年度第2四半期報)

冊 子 東通原子力発電所温排水影響調査結果報告書(平成29年度第2四半期報)

資 料 2 原子燃料サイクル施設に係る環境放射線等モニタリング計画の見直しについて

資 料 3 平常の変動幅の設定について

参考資料1 原子燃料サイクル事業の現在の状況について

参考資料2 東通原子力発電所の現在の状況について

参考資料3 リサイクル燃料備蓄センターの現在の状況について

広 報 誌 モニタリングつうしんあおもり No. 107

5. 概 要

(1) 議事

ア 原子力施設環境放射線調査結果(平成29年度第2四半期)について

(ア) 原子燃料サイクル施設

県及び日本原燃(株)から冊子により説明があり、次のとおり確認された。

- ・原子燃料サイクル施設に係る平成29年度第2四半期の環境放射線等調査結果は、これまでと同じ水準であった。原子燃料サイクル施設からの影響は認められなかった。

(イ) 東通原子力発電所

県及び東北電力(株)から冊子により説明があり、次のとおり確認された。

- ・東通原子力発電所に係る平成29年度第2四半期の環境放射線調査結果は、これまでと同じ水準であった。東通原子力発電所からの影響は認められなかった。

(ウ) リサイクル燃料備蓄センター

県から冊子により説明があり、次のとおり評価された。

- ・リサイクル燃料備蓄センターに係る平成29年度第2四半期の環境放射線調査結果は、これまでと同じ水準であった。

イ 東通原子力発電所温排水影響調査結果(平成29年度第2四半期)について

県から冊子により説明があり、今後も引き続き調査を継続し、データの収集に努めていくこととした。

ウ 原子燃料サイクル施設に係る環境放射線等モニタリング計画の見直しについて
県から資料2により報告があった。

委員から、炭素-14の調査対象試料に牛乳を追加することについて、乳牛が食べる牧草の情報を調べておくことについて意見があり、県から、委員の意見を踏まえて調査を実施すると回答があった。

エ 平常の変動幅の設定について
県から資料3により報告があった。

(2) その他

ア 原子燃料サイクル事業の現在の状況

日本原燃(株)から参考資料1により各事業の運転状況等について説明があった他、再処理施設等のしゅん工時期の変更、事業者対応方針に基づく改善活動の現場確認状況、再処理事業所精製建屋における塔槽類廃ガス処理系排風機B系の故障等について説明があった。

イ 東通原子力発電所の現在の状況

東北電力(株)から参考資料2により東通原子力発電所の運転状況等について説明があった他、燃料集合体ウォータ・ロッドの曲がりに係る点検結果、東通原子力発電所1号機原子炉建屋における水の漏えいについて、東通原子力発電所1号機における新規制基準適合性審査の状況について説明があった。

ウ リサイクル燃料備蓄センターの現在の状況

リサイクル燃料貯蔵(株)から参考資料3により新規制基準に係る適合性審査の状況等について説明があった。

II 平成30年度第1回青森県原子力施設環境放射線等監視評価会議評価委員会

1. 日 時 平成30年4月26日(木) 13:30~15:30

2. 場 所 アラスカ 地下1階 サファイア

3. 出席委員 17名

4. 提出資料

資 料 1 会議の状況

資 料 2 原子力施設環境放射線調査報告書(案)(平成29年度第3四半期報)

資 料 3 原子力施設環境放射線調査報告書データ集(案)(平成29年度第3四半期報)

資 料 4 東通原子力発電所温排水影響調査結果報告書(案)(平成29年度第3四半期報)

参考資料1 原子燃料サイクル事業の現在の状況について

参考資料2 東通原子力発電所の現在の状況について

参考資料3 リサイクル燃料備蓄センターの現在の状況について

5. 概 要

(1) 議事

ア 原子力施設環境放射線調査結果(平成29年度第3四半期報)について

(7) 原子燃料サイクル施設

県及び日本原燃(株)から資料2により説明があり、次のとおり評価された。

・原子燃料サイクル施設に係る平成29年度第3四半期の環境放射線等調査結果は、これまでと同じ水準であった。原子燃料サイクル施設からの影響は認められなかった。

(イ) 東通原子力発電所

県及び東北電力(株)から資料2により説明があり、次のとおり評価された。

・東通原子力発電所に係る平成29年度第3四半期の環境放射線調査結果は、これまでと同じ水準であった。東通原子力発電所からの影響は認められなかった。

(ウ) リサイクル燃料備蓄センター

県から資料2により説明があり、次のとおり評価された。

・リサイクル燃料備蓄センターに係る平成29年度第3四半期の環境放射線調査結果は、これまでと同じ水準であった。

委員から、複数地点で積算線量が平常の変動幅を上回ったことをこれまでと同程度であると判断した理由について質問があり、県から、過去の測定値の変動状況を考慮したことや、空間放射線量率については影響する自然条件の変化が無かったことから、そのように判断したものである、との回答があった。

委員から、平常の変動幅を外れた核種の再分析の実施状況について質問があり、県から、いずれも再分析を実施しており、その結果は同程度の値であった、との回答があった。

イ 東通原子力発電所温排水影響調査結果(平成29年度第3四半期報)について

県から資料4により説明があり、今後も引き続き調査を継続し、データの収集に努めていくこととした。

(2) その他

ア 原子燃料サイクル事業の現在の状況

日本原燃(株)から参考資料1により各事業の運転状況等について説明があったほか、再処理事業変更許可申請書等の一部補正、事業者対応方針に基づく改善活動の現場確認状況、再処理事業所精製建屋における塔槽類廃ガス処理系排風機B系の故障等について説明があった。

イ 東通原子力発電所の現在の状況

東北電力(株)から参考資料2により東通原子力発電所の運転状況等について説明があったほか、原子炉建屋における水の漏えいについて、野辺地町民の安全確保等に関する協定書の締結及び新規制基準適合性審査の状況について説明があった。

ウ リサイクル燃料備蓄センターの現在の状況

リサイクル燃料貯蔵(株)から参考資料3により新規制基準に係る適合性審査の状況について説明があったほか、原子力事業者防災業務計画修正の届出について説明があった。

委員から、参考資料2に示された東通原子力発電所における水の漏えいに係る再発防止対策について、口頭での説明内容に対して記載内容が不足しているとの意見があり、東北電力(株)から、今後の資料作成において改善を図っていく、との回答があった。

委員から、参考資料2に示された東通原子力発電所で新たに設置する補機冷却海水系取水設備について、一般の方に説明するような場合には当該設備の目的及び機能をわかりやすく説明してほしいとの意見があり、東北電力(株)から、そのように対応する、との回答があった。